



九条弘道

京都市立九条弘道小学校

校長 日吉 肇

令和5年9月29日

前期学校評価号

Tel:671-6981

Fax:691-3458

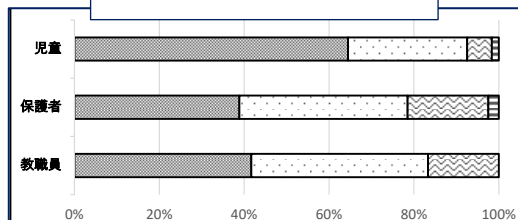
http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kujokodo-s/

【確かな学力】

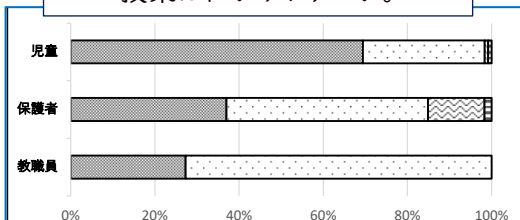
～学ぶ力を十分に引き出し学びに向かう積極的な姿勢を育てる～

■出来ている □大体出来ている ▨あまり出来ていない ■出来ていない

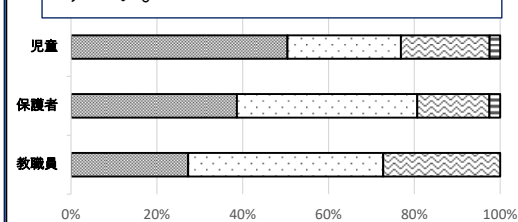
意欲的に学習しているか。



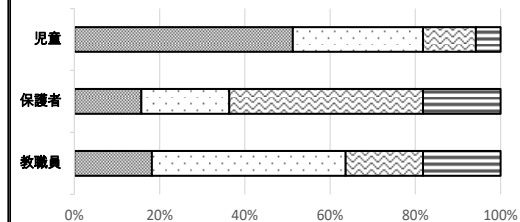
授業はわかりやすいか。



GIGA端末を使った学習はわかりやすいか。



進んで本を読んでいるか。

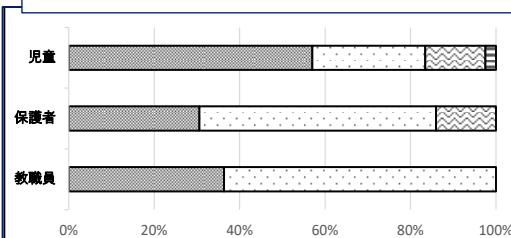


「前期学校アンケート（7月）」の結果をお知らせします

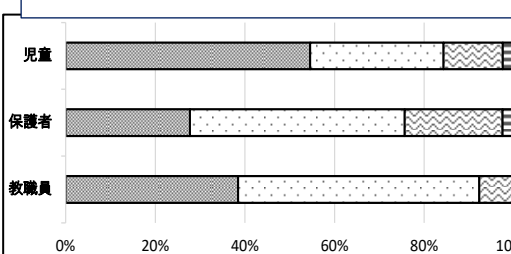
お忙しい中、夏休み前の学校アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。同時期に、子どもと教職員についても日常の学習や学校生活を振り返って自己評価を実施いたしました。このアンケートは、現在進めている本校の教育を振り返り、成果と課題を明らかに、学校・家庭・地域が今まで以上に連携しながら、子どもたちをよりよく育む今後の学校づくりに生かしていきたいと思っております。



家で15分×学年以上の学習（自主学習も含めて）ができているか。



家で、学習準備（えんぴつつけずり、時間わりなど）をして、忘れ物のないように気をつけている。



「意欲的に学習しているか」という設問に対し、92.6%、「授業がわかりやすいか」という設問については、98.3%の子どもが肯定的な回答をしています。このことから概ね意欲をもって授業に臨み、「わかる」と実感していることが伺えます。GIGA端末を活用した授業については、否定的な回答が2割強となっていることから、効果的な活用方法の模索を進めていかなければならないと考えます。

また、読書についての設問では、昨年度の結果では肯定的な回答が66.1%でしたが、今年度は81.8%に伸びていました。今年度は国語科を中心とした学力の向上を図る取組を校内で進めていることから、今後も子どもたちが読書への興味を持続できるよう工夫していきたいと思います。

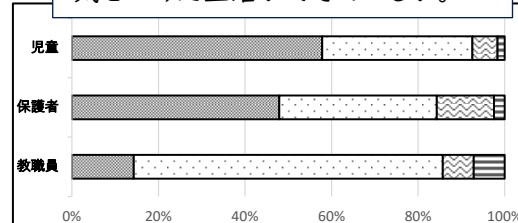
そして、学習準備や家庭学習など学習の下支えとなることについては、学校と家庭での連携が欠かせないと考えます。引き続き、ご協力をお願いいたします。

【健やかな体】

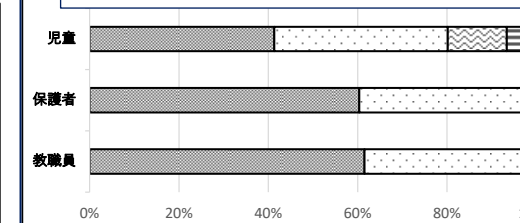
～生きる力を高める～



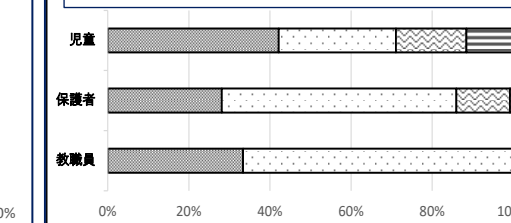
早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気をつけた生活ができているか。



日頃から安全に気をつけた行動ができているか。



ものを大切にし、使った物は元の場所に返しているか。



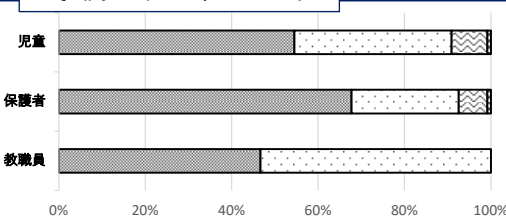
子どものアンケート結果を見ると「片付け」への意識を高める必要があるようです。

また、基本的な生活習慣ができていると回答している子どもは多いのですが、夏休み明けの様子を見ると「就寝時刻」が遅くなっている傾向にあります。

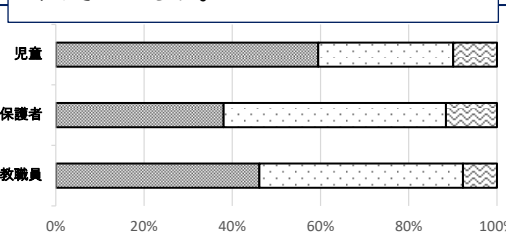
学校で安全に、そして元気に過ごすために、片付ける習慣や基本的な生活習慣を身に付けることはとても大切です。声かけ等ご協力をお願いいたします。

【豊かな心】～豊かな人権感覚を育てる～

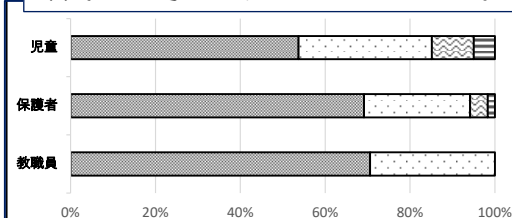
学校生活が楽しいか。



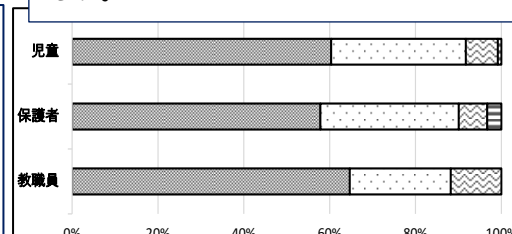
友だちの気持ちを考え、だれとでも仲よくできているか。



自分から進んであいさつをしているか。



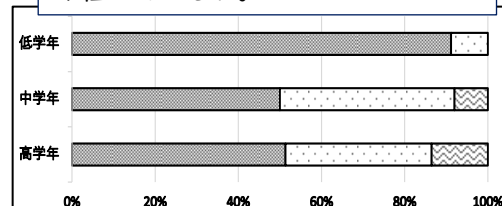
困ったことは、先生や家族に相談しているか。



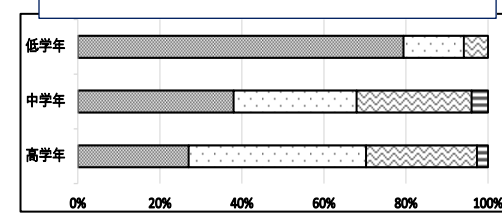
すべての子どもにとって、学校が「安心して居心地のよい場所」になる必要があります。「学校は楽しい」の設問に対し、子どもは、肯定的な回答が90.9%、否定的な回答が9.1%でした。保護者も否定的な回答が7.4%見られました。「誰とでも仲よくしているか」「困ったことを相談しているか」の設問から、子どもに否定的な回答が見られます。日々の生活の中で、何か困りがあると、やはり学校は楽しい場所ではなくなってしまいます。学校生活の大半の時間を占める授業を楽しむことはもちろん、子どもの話に耳を傾けしっかりと聴くことも同時に進めなければなりません。子どもがいつも元気に笑顔で話したりあいさつしたりする姿をたくさん見られる学校づくりに努めます。

【学校独自の取組】

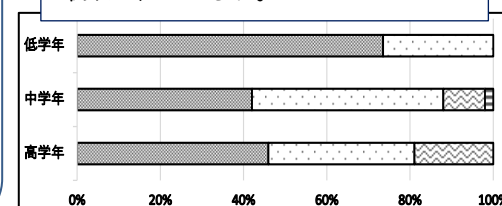
目標(めあて)に向かって粘り強く取り組みんでいるか。



進んで自分の意見を話しているか。



友だちの意見を聞き、自分の考えに取り入れているか。

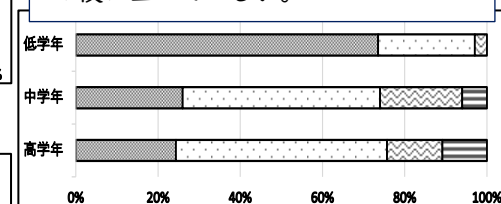


学校教育目標

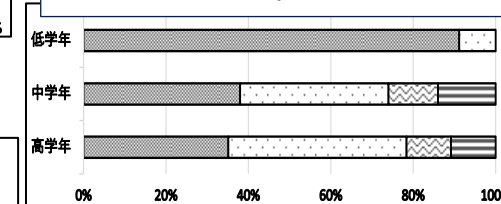
「夢に向かってたくましく
輝く九条弘道の子」

～つなぐ・つながる 発信する～
の達成をめざして

クラスの人や 他学年の人、学校などの役に立っているか。



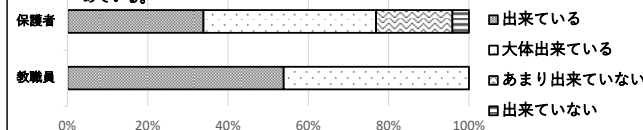
自分のしたこと、人によろこんで
もらったり「ありがとう」と言ってもらったりしているか。



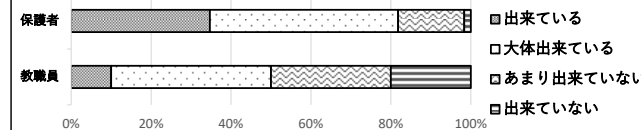
子どものアンケート結果を、低学年・中学年・高学年別に分析しました。目標をもって取り組むことや友達の意見を聞くことに関しては、肯定的に回答している子どもがどの学年も80%を超えています。一方で、自分の意見を話すこと、役割をもって取り組むことやまわりに認められているかどうかを問う設問には、やや否定的な回答が見られます。学年が上がるにつれ、様々な場面で「自信をもって」ということが容易ではなくなります。だからこそ、一人ひとりの子どもが「自分らしさ」を発揮して自己表現できる場をたくさん設定し、互いを尊重し合い「つながる」仲間づくりを目指していきます。

家庭と学校のつながりについて

保：気になることがあれば、気軽に学校に相談している。
教：児童・保護者の訴えや相談内容について報告・連絡・相談をするよう努めている。



保：各種おたよりやホームページなどで学校の様子を知ろうとしている。
教：学級のおたよりやホームページなどで学校の様子を伝えている。



学校へ相談しやすい教職員は、努めていると回答していますが、すべての保護者にとって「気軽」に相談できる場であるとは十分に言えないようです。また、学校の様子について、保護者の方は「知ろうとしている」の回答が80%であるのに対し、教職員の「伝えている」の回答が50%程度にとどまっています。今後、各種行事の案内だけではなく、学校だよりや学校ホームページ、スクリーン等を活用して学校の様子や取組の内容、また子どもたちの様子を分かりやすく伝えるよう工夫していきたいと思ひます。そして、わからないことや気なることがありましたら、いつでもご相談ください。